学園ゲリラ

ナンセンス・ドジカル
八方破れ派斗争宣言!!

（早大全共斗革命的再編粉砕に向けて）

A、ノンセクトラジカルからナンセンスドジカルへの転身好なり。
B、八方破れの斗いを貫徹すること。
C、無秩序、無思想、無セッソウの三ム主義をかかげて、意識的に混乱を求める斗いを開始せよ。
D、学園ポリティシャン（活動家）廃業宣言をとなえ学園ゲリラとして活躍せよ。
E、同志に対して、敵対的関係を有しつつスクラムを組むべし。（孤立せよ、ただ孤立せよ!）
F、総括は簡単にすませ、ただ行動方針を次々と提起し、オレ一人でも貫徹せよ。
（論理でしゃべるな。感情でしゃべろ）

☆ノンセクトラジカルからナンセンスドジカルへの転身好なりと昔し毛さんもいったとか言われなかったなか、いやは言葉とはあやふやなもので、いわゆる'ノンセクト'が古いイメージの党派をのりこえたものだという幻想をもたさせ、まさに党派の秩序をだいたんに、荷なっている事に注目しなければならない。ノンセクトが意味するものは、セクトをオノレから外在化させ、自らセクトを生みだすといったセクトの根源的矛盾をだいたんに、しかも陰ケンに露呈したにすぎないだろう。ボクラは今や、セクトをのりこえたという幻想を、何かを創りだしたというわざわいを、ぶちこわさねばならぬ。一切の秩序、運動の原則に対し自らがオノレの地平で叛逆することにより、総叛乱を開始せねばならぬ。
ナンセンス・ドジカル万才!!
レストランであたえられる自由がメニューの域を出ないように、ボクが選ぶヘルナットの色の中に、もはや一切の秩序が巣くっているのだ!! ノンセクトが赤青、白緑以外の色をヘルナットに求めるとき、彼は自由を拒否したのだ。

★まず、ボクラの運動が「……のための学生運動」、「……の一環としての学生運動」では一切ないんだと言うことを確任しなければならない。もちろん、どのように言葉で規定しようということだし、できることである。しかしながら、ボクにとってそんなことはどうでもいいことなのだ。ひらきなおって言うと、学生運動なんかないのである。ボクには、オノレの実在をかけたオレの運動があるだけだ!! 4.1～4.28にいたるまで"全共斗"運動が、セクト的対応による個人の圧殺のない自立した諸個人の連合体による運動であったという幻想をぶちこわさねばならないし、それなくして、早大全共斗革命的再編強化をとなえたところで何の意味もない。ボクラは再度確任しなければならない、革マル民青秩序派のカイゲン令の中で何がワセダにおこったか? だれがワセダをそうさせたのか?
それは種々のセクトでもなければ、うらがえし的ノンセクトでもない。それはボクがワセダをそうさせたのだ!!
もしかすると君かもしれない、しかしボクにとってボクがやったとしか言うことができないし、それ以上は言っても意味のないことだ。では何がワセダでおこったのか? それは生き生きとした人間がオノレのやり方でオノレのやりたいことをオノレの地平でやりだしたということであろう。注目せよ!!
一切のセクト的対応、運動の原則をうちやぶり、個人のかきまわしによってのみ（ゲリラ活動）はじめて革マル民青、当局があわてふためいたということを。運動の原則が、セクトが、ノンセクトがそして、4.28がいかに激れつに斗われようとも、もはや一つの秩序内的なものでしか、とらえられぬ時ボクは提起する。4.28をスケジュール的に4.28として斗うことを拒否し、運動の原則をうちやぶり、まさに八方破れの斗いを開始せよ。すべてのナンセンス・ドジカル諸君!! 一切を拒否し、何も守るべきものもない中に、異常を日常とする斗いが個人の叛逆の中からでしかおこしえないんだということを、ボクは宣言する。

（文責J・T）